

令和3年度 本校のセンター的機能について

本校のセンター的機能の活用について、コロナ禍の影響を受けるなかでの相談支援業務が厳しい状況でしたが、感染症対策のもと、実施可能な方法を工夫し、センター的機能の発揮に努めてまいりました。

次の通り、令和3年度のセンター的機能発揮状況を報告させていただきます。次年度も本校の相談・支援活動への一層のご理解と御協力をお願い申し上げます。

①教育相談

教育相談件数 116件(就学児 11件 小学校 22件 中学校 1件 高等学校 0件
特別支援学校 11件 福祉・教育委員会 15件 保護者 56件)

就学や中学校進学に関する児童・保護者からの相談・見学・体験授業が多く、県内・外在住の保護者より転校を見越した学校見学や相談がありました。新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により実施できなかったケースもありました。

②訪問支援

小学校 9件

要請があっても、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によっては訪問を見合わせるケースもあったので件数が減った。自閉・情緒支援級に在籍する肢体不自由のある児童生徒の身体の使い方に関する相談を受ける機会があり、潜在するニーズへの呼びかけへの必要性を感じました。

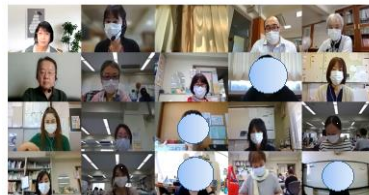
③専門家活用

各学校からの依頼の内容に応じて、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)の派遣を行いました。専門家の活用をしたことで、指導方法の改善、専門性の向上等につなげることができました。また他校への支援(特別支援学級)にも同行して頂くことができ、継続した指導を行うことができました。

◎専門家活用を希望される場合には、本校へご連絡いただき相談票をもとにご相談させていただきます。

④研修支援

7月28日に開催された特別支援教育セミナーは、講師に東京福祉大学教授 立松英子先生を招き、『太田ステージ評価の発達段階に応じた支援について』と題してオンライン会議システムZoomで行いました。子どもの認知発達を捉えるために大切な視点や、個に応じた教材・教具の活用方法について学ぶことができました。



セミナーの様子
(オンライン会議システム Zoom)



教材・教具の紹介



◎令和3年度に本校で購入したものの紹介です。

「Qシリーズ」のなかで、(1) Qリング (2) Qデスクシートを購入しました。詳しい様子については、QRコード(1)、(2)をスマートフォン等で読み込みをしていただけたらと思います。(動画が流れます)

動画を見ていただき、関心を持っていただいた場合には、道具の貸し出しも行っていきますので、ご相談ください。(Qシリーズ参考URL：<http://www.gomuq.com/index.html>)

(1) Qリング

鉛筆の持ち方の補助具です。鉛筆を握りこんでしまう・摘む行為が苦手な児童生徒にお勧めで、本校の児童生徒も活用しています。



ピンク色のものが補助具です。

(2) Qデスクシート

上肢機能に障がいのある児童生徒や、不器用さをもつ児童生徒がうまく紙を押さえることができずに、書字が難しい、プリントや教科書をめくるなどの動作が難しい場合があります。このシートを使うことで、プリントや教科書などを固定ができ、活動がスムーズにできるようになってきています。



◎Qリングを使った時の様子

◎Qデスクシートを使った時の様子



あけぼのブログでは、普段の児童生徒の学習や行事の様子など発信しています。ぜひご覧ください。

あけぼのブログ



山梨県立あけぼの支援学校



〒407-0046

韮崎市旭町上條南割3251-1

TEL : 0551-22-6131

E-mail: shien@akebonoy.kai.ed.jp

URL : <http://www.akebonoy.kai.ed.jp>

(地域支援担当)